

水土里ネットおおいた

# 土地改良広報 No.331



桜満開の大分城址公園

## Contents

- 02 会長あいさつ
- 03 県幹部新年度あいさつ
  - ・農林水産部長
  - ・農村整備計画課長
  - ・農村基盤整備課長
- 06 トピックス
  - ・9回目となる大分県土地改良区理事長会と知事との懇談会を開催
  - ・多面的機能支払優良活動組織表彰式
  - ・国東市と「災害支援等に関する協定」を締結
  - ・全国並びに大分県土地改良功労者等表彰の合同表彰式を開催
  - ・全国土地改良事業団体連合会 第63回通常総会 開催
  - ・NHK朝ドラ「南一郎平」誘致推進プロジェクト始動
- 11 会議・要請活動
  - ・第3回監事会及び第3回理事会が開催される
  - ・第63回通常総会が開催される
  - ・畑かん協議会の要請活動
  - ・日田市・女子畑土地改良区九州農政局に災害支援への御礼並びに要望
- 13 県・連合会の職員配置
- 14 水土里ネット大分 各部課所長の紹介
- 16 新入職員の紹介
- 17 退職者の紹介
- 18 インフォメーション
  - ・「災害対策室」の設置
  - ・県が「大分県ため池保全サポートセンター」を連合会内に設置
  - ・土地改良長期計画（令和3～7年度）が閣議決定
- 20 NHK朝ドラ「南一郎平」誘致推進プロジェクトポスター

5  
2021  
May



# 会長あいさつ

大分県土地改良事業団体連合会

会長 義経賢二

惜春の候、会員並びに関係者の皆様方におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、本会の運営並びに農業農村整備の推進につきまして、格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大と予防のための対策に終始した一年でありました。わが国でもいまだ感染の終息には至らず、感染症拡大予防対策と社会・経済活動の両立を目指した取り組みが引き続き試みられている最中にあります。会員の皆様におかれましても、それに伴う生活様式の激変に苦慮されておられるかと存じますが、組織や家族を守るための最大限の感染防止対策をお願いします。

さて、近年では大きな災害が頻繁に発生しており、昨年7月には大分県全域で梅雨前線に伴う豪雨が発生し、特に由布市、九重町、玖珠町、日田市では甚大な被害を受けました。本会も災害対策班の設置や九重町へ1名の職員派遣を行うなど、できる限りの対応を行いました。このように頻発する災害に対応するため、3月に災害対策強化方針を策定し、これを踏まえて4月から災害対策室を設け、更なる会員支援を行える体制を整えました。さらに、広域にわたる災害発生時には、県内市町村間における技術者派遣が重要となることから、市町村職員の技術力向上の一助となるべく、本会において派遣を受け入れ実践的研修を積めるようにしました。今年度は国東市より1名を受け入れたところです。今後も有事の際には全職員が一丸となり最大限の力で、会員への支援を行っていきたいと考えております。

また、「防災重点農業用ため池に係る工事等の推進に関する特別措置法」による「大分県ため池保全サポートセンター」が本会内に設置され、県の指導の下、ため池の適正な保全管理等に資するよう、支援体制を強化していきます。

一方で土地改良区では、令和4年度からの貸借対照表整備に向けた最終年度を迎え、体制強化が求められており、国は本年度から県に土地改良区運営基盤強化協議会を設置し、様々な課題に取り組むこととしています。連合会は今後も、今まで以上に会員支援や指導を行うべく体制を整え、課題解決に向けた取り組みを進めて参ります。

このような中、今年度の農業農村整備事業関係予算は、令和2年度補正予算を含めてではありますが6,300億円となり、昨年度に続き大幅削減前の平成21年度予算を上回る事ができました。

これも二階全土連会長をはじめ、進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員など多くの方々のおかげだと思っております。この場を借りて感謝申し上げます。今後も引き続き安定した予算を確保するため、全国水土里ネット会長会議顧問である進藤議員と宮崎議員が車の両輪となって活躍していただきたいと思っております。

本年度も、県をはじめ関係機関との連携を図り、国に対しての要請活動を行い、会員の皆さまの利益増進につながる事業活動を積極的に展開する所存でございます。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げ、ご挨拶と致します。



## 佐藤農林水産部長のご挨拶

大分県農林水産部

部長 佐藤 章

本年度の異動により、大分県農林水産部長に就任しました佐藤でございます。

水土里ネット大分及び会員の皆様には、日頃より本県の農林水産業の振興に多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。特に令和2年7月豪雨では災害発生時の早期復旧に向けた取組において、力強いご支援をいただき、重ねて御礼申し上げます。

さて、我が国の農業・農村は、かつてない少子高齢化・人口減少、TPP11などの経済連携協定等の発効に伴うグローバル化の一層の進展など、大きな変革期を迎えています。

加えて、新型コロナウイルス感染症による観光・宿泊需要の減は、本県の農林水産業にも多大な影響を与えており、新しい生活様式への対応が急務となっています。

そういった中、本県の情勢に目を向けますと、先般、公表された令和元年度の農業産出額は、前年から64億円減の1,195億円で3年連続の減少となり、1974年以来の1,200億円割れとなりました。また、農林業センサス2020では、本県の農業経営体数が5年前と比較し、率にして25%の減となるなど、本県農業は大変厳しい状況にあります。

このため、県内の農業団体と県は、令和3年3月に「大分県農業非常事態宣言」を発出し、今後、農業総合戦略会議の場で、農業の構造改革、担い手の確保、営農指導・流通販売（農協改革）のテーマについて、生産者、関係団体と一体となって議論を進め、対策を講じていくこととしています。

これらの取組の土台となる農業農村整備の果たす役割は、極めて大きく重要です。頑張る生産者の所得向上に向け、全ての水田で園芸品目の導入が可能となるよう排水対策などを行う農地整備や、大野川上流地域や駅館川地域の国営事業など大型プロジェクトを契機とした園芸産地づくりを推進してまいります。

併せて、防災・減災対策にもしっかりと取り組み、7月豪雨災害からの早期復旧・復興を進めるとともに、国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を活用し、生産者が安心して農業を続けられるよう災害に強い農村づくりを着実に進めてまいります。

皆様には、本県農業の再生に向け、これまで以上のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、水土里ネット大分の益々のご発展と、会員皆様のご活躍をご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



## 黒垣農村整備計画課長のご挨拶

大分県農林水産部農村整備計画課

課長 黒垣 圭 則

農村整備計画課長の黒垣です。本年度も引き続きよろしく申し上げます。水土里ネット大分及び会員の皆様には、日頃より本県の農業農村整備事業の推進に格別のご支援、ご協力をいただき、心から御礼申し上げます。

さて、国においては、今後5年間の事業目標などを定めた「土地改良長期計画」が令和3年3月に閣議決定されました。

同計画では、農業・農村が目指すべき姿として「人口減少下で持続的に発展する農業」と「多様な人々が住み続けられる農村」が掲げられています。

これらを具現化するため、3つの政策課題が定められており、1点目は高収益作物への転換、産地形成を通じた産地収益力強化などによる「生産基盤の強化による農業の成長産業化」、2点目は地域共同活動による農地・農業用水等の保全管理などによる「多様な人が住み続けられる農村の振興」、3点目はため池対策や流域治水などによる「農業・農村の強靱化」に取り組むこととなっています。

また、令和3年度の当初予算に目を向けますと、令和2年度補正の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」予算と合わせ、国では5,600億円、県では143億円の予算規模となり、皆様からの要望に応え得る額が確保できたのではと考えております。

このような中、本県農業は、令和元年度農業産出額が1,195億円と3年連続で減少し45年ぶりの低水準となったことや、農業経営体が5年前から25%も減少したことなど、危機的な状況に置かれています。

この危機から脱するため、本県の農業農村整備では、国の土地改良長期計画及び県の農林水産業振興計画を踏まえ、次のことに取り組んでまいります。

まず、農地整備事業では、農業産出額向上に向け、全ての水田で園芸品目の導入が可能となるよう排水対策を実施し、品目に応じて除レキや土層改良などの基盤整備を行います。加えて、大区画化や用水路のパイプライン化による水管理の省力化により、生産コストの縮減を図るとともに、国営事業などを契機とした大規模園芸団地づくりを推進し、農業の構造改革への取組を更に加速化していきます。

また、適切な農地・農業用水等の保全管理を図るため、土地改良区や多面的機能支払活動組織等の体制整備・強化の支援に取り組めます。

そして、これらの取組を支える農業・農村の強靱化も重要な課題です。ため池や水利施設の計画的な改修や、農業用ダムの事前放流などの流域治水による防災・減災対策に取り組んでまいりますので、会員皆様の益々のご支援、ご協力をお願い致します。

最後になりましたが、県内でも変異種による感染者が確認されるなど、新型コロナウイルス感染症が全国的に再拡大の傾向を見せています。会員皆様方におかれましては、これまで以上に健康に留意されますとともに、今後のご活躍を心からお祈り申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



## 安東農村基盤整備課長のご挨拶

大分県農林水産部農村基盤整備課

課長 安東正浩

農村基盤整備課長の安東です。昨年度から引き続き、どうぞよろしく申し上げます。

会員の皆様におかれましては、常日頃から本県の農業農村整備事業の推進に当たりまして、多大なるご理解とご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

令和2年7月豪雨で発生した県内農地・農業用施設災害の被害額は136億円となり、平成29年7月九州北部豪雨（被害額54億円）と比べ、約2.5倍となる大規模な災害でした。特に、由布市、九重町、玖珠町等を中心に県下各地で被害が発生したことから、年内に災害査定を終了できるのか心配したところですが、「水土里ネットおおいた」等関係機関の皆さんに昼夜を分かたずご支援いただいたお陰で、12月末には無事査定を終了させることができました。改めて、皆様のご尽力に対し、心から感謝申し上げます。

今後、農業者が営農意欲を失わないように、速やかな復旧工事に取り組み、早期の営農再開を支援していくこととしています。会員の皆様にはこれまで以上のご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

さて、本県の農業農村整備に関しては、今後、「競争力強化」と「防災減災」の2つの柱で推進していきます。

まず、「競争力強化」です。水田農業の構造改革に向けた水田の畑地化に取り組み、農業所得の向上を図ります。営農部門と連携して作成した「水田畑地化アクションプラン」に基づき、導入する園芸品目の選定から担い手の確保、農地のゾーニング、排水対策等基盤整備など、総合的な畑地化対策を実施していきます。

次に、災害を未然に防ぐ「防災・減災対策」です。「ため池工事特措法」に基づき、防災重点農業用ため池に関して、概ね10年間を見据えたため池工事推進計画を令和2年度に策定したところであり、今後、ため池の耐震化や廃止等を集中的かつ計画的に実施していくこととしています。また、ため池の適切な保全管理に向け、専門家による現地パトロールや技術指導を行う「大分県ため池保全サポートセンター」を令和3年5月に「水土里ネットおおいた」に設置するとともに、業務運営をお願いしたところでもあります。

さらに、流域治水の一環として、台風や豪雨等に備え、農業用ダム・ため池における事前放流や、水田に雨水を一時的に貯留し下流被害を軽減する「田んぼダム」にも積極的に取り組んでまいります。

こうした取り組みを着実に実施していくために必要となる農業農村整備事業予算については、引き続き、国に対して予算規模の拡大を要望するとともに、通常予算並びに国土強靱化5か年加速化対策予算の確保に全力で取り組んでまいりますので、「水土里ネットおおいた」の皆様のご支援、ご協力の程、よろしくお願い致します。

最後に、「水土里ネットおおいた」の益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

## 9回目となる大分県土地改良区理事長会と知事との懇談会を開催

1月14日（木）に大分県土地改良区理事長会（以下、理事長会）は、広瀬勝貞大分県知事と9回目の懇談会を開催した。冒頭に水土里ネット大分義経賢二会長は、広瀬知事に対して新型コロナウイルス感染症対応で連日陣頭指揮を執り、県民を引っ張っていただいていることに敬意を表した後、この懇談会により農業水利施設、ため池整備に伴う地元負担の大幅な軽減、パイプライン、ポンプ等の突発事故に対しての支援制度創設、多面的機能支払交付金の早期支払の実現など数々の成果があったことに対して謝辞を述べた。

続いて懇談では、理事長会の小山一善会長（須ノ原土地改良区理事長）をはじめ10ブロックの代表理事からも知事に感謝の言葉が述べられるとともに「土地改良区への公的助成制度の創設」「令和2年7月豪雨災害の復旧に向けた今後の支援」「ため池工事特措法

に基づくため池整備の推進」など各地域の実情を踏まえた11の課題について直接、要望・意見を伝えた。

知事からは「日頃からの施設の維持管理に敬意と感謝申し上げる。土地改良施設は公益的機能を果たしており、維持管理は公的な役割がある。皆さんの苦労に報いるべく県も努力していきたい。」と前置きしたうえで個別課題の一つずつ丁寧に回答をいただいた。最後には「皆さんの要望に対しては、できるだけ早く応えるよう取り組みたい。大分県の土地改良区が一生懸命取り組んでいる熱意は農水省にも通じているので、是非力を合わせて前に進めていきたい。」と力強いことばで締めくくられた。

水土里ネット大分では、今後とも知事との懇談会をはじめとする諸活動を通じて会員支援の充実を図っていくこととしている。



知事へ御礼を述べる義経会長



知事へ要望を述べる小山一善理事長会会長



要望・意見に回答する広瀬知事



記念撮影

## 多面的機能支払優良活動組織表彰式

大分県多面的機能支払推進協議会は、令和3年2月3日（水）土地改良会館において令和2年度の優良活動組織表彰を行った。

これは、毎年県独自で実施しているシンポジウムの中で、各活動に積極的に取り組んでいる組織を選定し表彰、そして事例を紹介することで県下の活動組織の更なる活性化を図

るとともに、広く県民に本対策への理解を深めていただくために行っているが、今回はコロナ禍の影響を受け表彰式のみとなった。また、今年度は組織の広域化を図るという観点から、広域化によって地域ぐるみの活動を行いその取り組みが特に顕著な3組織について表彰を行った。

### 【最優秀賞】

大野町みどり広域協定（豊後大野市）

### 【優秀賞】

竹田地域広域協定（竹田市）

### 【優秀賞】

杵築市多面的広域協定（杵築市）



後列左より 竹田地域広域協定（3名）、杵築市多面的広域協定（3名）  
前列左より 光永協議会副会長、山浦優良組織選考委員長、  
大野町みどり広域協定（3名）、義経協議会会長、石井協議会統括

## 国東市と「災害支援等に関する協定」を締結

大分県土地改良事業団体連合会と国東市（三河明史市長）は、3月16日（火）に国東市役所にて「災害支援等に関する協定」を締結した。調印式では、三河市長が「国東地域は農業用ため池も多く農地災害が増加傾向にあり、小さな自治体では対応が厳しい状況だ。スムーズな対策に期待したい。」と挨拶し、義経会長が「近年の相次ぐ豪雨災害で中小河川が氾濫し、田畑が大きな被害を受けている。市町村合併による広域化、農業土木技術者の不足でマンパワー不足が課題となっている。全力で支援していきたい。」と述べた。

県下で11番目となる本協定では、新たに市職員技術者の育成支援項目が追加されており、これに基づき連合会は、4月1日（木）から

新たに創設した災害対策室に1年の期間で国東市職員1名を研修生として受け入れた。



## 全国並びに大分県土地改良功労者等表彰の合同表彰式を開催

令和2年度全国並びに大分県土地改良功労者等表彰式が、令和3年4月26日（月）に土地改良会館5階大会議室において行われた。

この表彰式は、例年であれば3月の総会時に行っていたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置に伴い延期となっていたもの。また、併せて全国水土里ネットが行う令和2年度全国土地改良功績者表彰式、第62回

全国土地改良功労者等表彰式、農業農村整備優良地区コンクール表彰式も同様の理由により中止となっていたが、当会義経会長が全国水土里ネットの副会長であることから、合同での開催とすることとした。

なお、当日は新型コロナウイルス対策として参集人数を限定した中で執り行われた。

受賞者は以下のとおり。



被表彰者の方々（全国表彰）  
前列左より 堀義隆、義経会長、有瀬義徳、秦野久 後列左より 南俊司、真砂矩男、中山田秀俊（大田村）



被表彰者の方々（大分県表彰）  
前列左より 土谷政直、三上忠治、義経会長、東保雄、奥村英一  
後列左より 後藤貴之、野田政幸、田中龍三、宮本良雄



被表彰者の方々（NNコンクール）  
左より 佐藤慶一（荻柏原）、義経会長、後藤大賢（荻柏原）



## 【令和2年度全国土地改良事業功績者表彰】

### 1. 農林水産大臣表彰

氏名	所属	職名
ありせ よしのり 有瀬 義徳	宇佐土地改良区	理事長

### 2. 農村振興局長表彰

ほり よしたか 堀 義隆	白水井路土地改良区	理事長
-----------------	-----------	-----

### 3. 全土連会長表彰

はたの ひさし 秦野 久	享保井路土地改良区	前理事長
-----------------	-----------	------

## 【第62回全国土地改良功労者等表彰】

### 1. 団体表彰

団体名
大田村土地改良区

### 2. 個人表彰

氏名	所属	職名
まさこ のりお 真砂 矩男	杵築市土地改良区	理事長
みなみ しんじ 南 俊司	宇佐土地改良区	事務局長

## 【大分県土地改良功労者表彰】

### 1. 土地改良区会員の部

管内	氏名	所属	職名	年齢	経験年数
高田	みかみ ただはる 三上 忠治	並石土地改良区	理事長	83歳	15年
国東	くぼ たやすのぶ 久保田 泰信	伊美郷土地改良区	総代	74歳	21年
杵築	いわお きみのり 岩尾 公則	杵築市土地改良区	理事	67歳	21年
大分	のだ まさゆき 野田 政幸	明治大分水路土地改良区	事務局長	64歳	32年
臼杵	つちや まさなお 土谷 政直	野津土地改良区	代表監事	70歳	11年
佐伯	かわの ひろゆき 河野 洋之	高島井堰土地改良区	監事	76歳	16年
三重	たなか りゅうぞう 田中 龍三	三重町土地改良区	事務局長	59歳	36年
竹田	おくむら えいいち 奥村 英一	荻柏原土地改良区	水路取締人	68歳	22年
玖珠	ときまつ たつひろ 時松 龍廣	飯田土地改良区	理事	69歳	26年
日田	ひがし ほすお 東 保雄	日田市土地改良区	理事	83歳	16年
中津	うえやま あきひと 植山 昭仁	荒瀬井堰土地改良区	前事務局長	60歳	34年
宇佐	よこい ただよし 横井 忠義	宇佐土地改良区	理事	78歳	14年

### 2. 県関係功労者の部

氏名	所属	職名	年齢	勤続年数
ごとう たかゆき 後藤 貴之	農林水産部工事技術管理室	室長	60歳	36年
あかぎ けいじ 赤木 恵治	豊肥振興局大野川上流開発事業事務所	所長	60歳	42年

### 3. 本会職員表彰

氏名	所属	職名	年齢	勤続年数
みやもと よしお 宮本 良雄	南部事務所	所長	59歳	41年

## 【農業農村整備優良地区コンクール】

### 1. 中山間地域等振興部門 農村振興局長賞

団体名
荻柏原土地改良区

### 2. 農業振興部門 全国水土里ネット会長賞

団体名
宇佐地区圃場整備推進組合

## 全国土地改良事業団体連合会 第63回通常総会 開催

全国土地改良事業団体連合会（会長二階俊博）は、3月25日（木）に東京都の全国都市会館において第63回の通常総会を開催した。総会では、高貝久遠副会長（秋田県土地改良事業団体連合会会長）が開会の挨拶を行った後に全国水土里ネット会長会議顧問進藤金日子参議院議員が祝辞を述べた。



祝辞を述べる進藤参議院議員

議事では、本会の義経賢二会長（全土連副会長）が議長を務める中、第1号から16号までの議案が上程され、全ての議案が満場一致で承認された。



議事を進める義経副会長

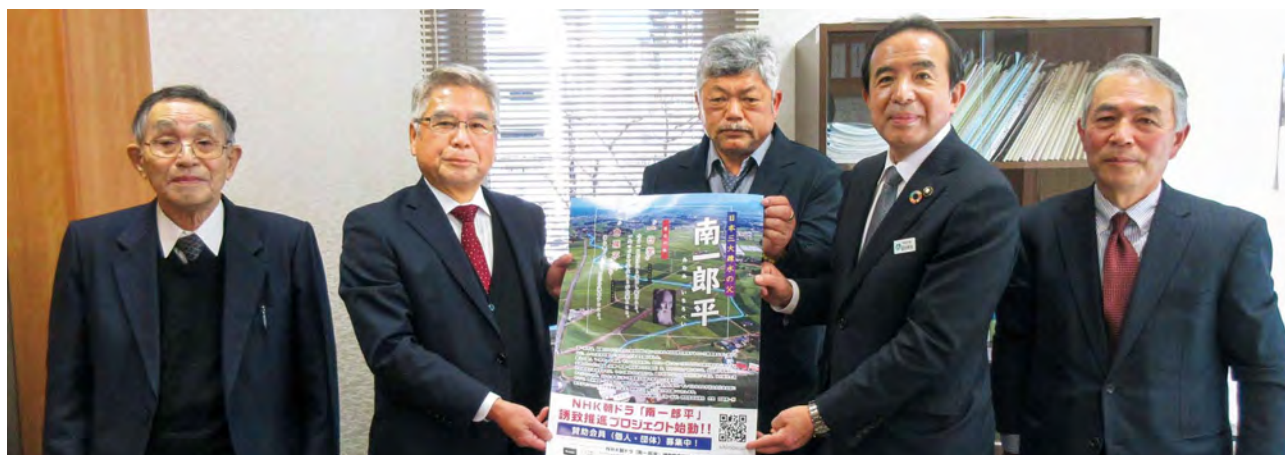
第13号議案では役員補欠選任が行われ、新たに佐藤勉氏（水土里ネット栃木会長）と丸目賢一氏（水土里ネット宮崎会長）が選任された。

## NHK朝ドラ「南一郎平」誘致推進プロジェクト始動

2月8日（月）、岡崎誘致推進協会会長、南事務局長、是永宇佐市長、有瀬宇佐土地改良区理事長が来訪され、NHK朝ドラ「南一郎平」誘致推進プロジェクト始動の報告を受けた。

業に携わり、日本の近代国家建設に大いに貢献した偉人。日本三大疏水（安積、那須、琵琶湖）の父と呼ばれ、その偉業を発信するプロジェクトとして地元、市、宇佐土地改良区等が主体となり5年先の実現を目指し活動を行う。（最終頁に詳細を記載）

「南一郎平」は、宇佐市金屋出身で、同市の広瀬井路をはじめ、明治政府の水利開墾事



左より 有瀬理事長、義経会長、岡崎会長、是永市長、南事務局長

# 会議・要請活動

## ●第3回監事会及び第3回理事会が開催される

令和2年度一般会計並びに特別会計の収入支出補正予算（案）について、1月28日（木）に第3回監事会が田中利明総括監事他2名の監事が出席して開催され、原案どおり承認された。

2月8日（月）には第3回理事会が開催され、前述の補正予算（案）や第63回通常総会

提出議案並びに大分県土地改良功労者の選考について審議され、原案どおり可決された。義経会長からは、2月16日（火）から3月3日（水）にかけて県内7箇所で開催される総会提出議案の事前説明会を開催することを報告し、各ブロック代表理事に協力を求めた。



第3回監事会にて挨拶される田中利明総括監事



第3回理事会にて挨拶する義経会長

## ●第63回通常総会が開催される

第63回通常総会提出議案ブロック説明会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために規模を縮小して2月16日（火）から3月3日（水）にかけて県内7箇所の会場で開催された。

通常総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため昨年引き続き、書面議決を併用した総会形式で3月12日（金）に実

施された。佐藤一富副会長（提子土地改良区理事長）の開会挨拶の後、義経会長から書面議決を併用した形となっているが、事前のブロック説明会にて会員へ説明を行い、質疑も十分にされていることから短時間での開催をお願いし、提出された7議案すべてが承認された。



第63回通常総会にて挨拶する義経会長



開会の挨拶を述べる佐藤一富副会長

## ●畑かん協議会の要請活動

ダムやパイプラインなどの畑地かんがい施設を管理する土地改良区等が、様々な課題に一体的・組織的に対応していくために設立した「大分県畑地かんがい施設対策推進協議会」（8会員、会長＝小山一善：須ノ原土地改良区理事長）が1月14日（木）に、大友県農林水産部長に要請活動を行った。

要請内容は、施設管理に必要な各種情報を水土里情報システムで整備・運用する上での県の支援等をお願いするもので、県からは、今後の国の制度拡充の状況等も見ながら対応していく旨の回答をいただいた。

このような要請活動は、当協議会が発足した平成30年度に土地改良区理事

長会・土地連と三者で「基幹水利施設の小規模な突発事故に迅速に対応できる補助事業制度の創設」を合同要請して以来2回目、単独では初めてであるが、今後とも当協議会では会員の声を聞きとり、課題解決に向けて取り組んでいくこととしている。



大友県農林水産部長に要望書を手交

## ●日田市・女子畑土地改良区 九州農政局に災害支援への御礼並びに要望

令和2年7月の梅雨前線豪雨では、日田市女子畑土地改良区（理事長財津博）が管理する幹線水路の一部（水路トンネル部）が崩落し、下流の水田約40haに用水が供給できない事態が発生した。仮復旧方法に苦慮する市や改良区に対し、大分県土地改良事業団体連合会の支援要請を受けた九州農政局から、防災課職員を現地に派遣し対応策等について迅速な指導をいただいた。これにより営農被害は最小限に抑えられた。

日田市（市長原田啓介）と女子畑土地改良区（理事長財津博）並びに大分県土地改良事業団体連合会（会長義経賢二）は、3月11日（木）に九州農政局を訪問し、横井局長以下幹部職員

にこれまでの御礼を伝えるとともに今後の更なる支援を要望した。



横井九州農政局長に要望書を手交

県の職員配置

令和3年4月1日、主幹級以上

部署名	職名	氏名
【農林水産部】	部長	佐藤 章
	審議監	淵野 勇
農村整備計画課	課長	黒垣 圭則
	農村整備計画監	和範 和範
	参事	森迫 光晴
	課長補佐	小林 康二
	課長補佐	井下 哲二
	課長補佐	末廣 理
	主幹（総括）	坂本 晴生
	主幹	足立 淳
	主幹	有延 滋
	主幹	坂本 淳一
	主幹	木村 勝博
	主幹	宮崎 裕子
	主幹	佐藤 洋祐
農村基盤整備課	課長	安東 正浩
	課長補佐	甲斐崎一成
	課長補佐	本田 豊治
	課長補佐	佐藤 広光
大分県央飛行場 管理事務所	所長	大野 秀樹
工事技術管理室	室長	山本 文博
	主幹	波多野勝幸
	主幹	市原 広文
【東京事務所】	参事	法野裕二郎
【土木建築部】		
建設政策課	主幹	石坂 嘉久
工事検査室	参事	坂元 大輔
	主幹	池上 正人
【東部振興局】		
農林基盤部	局長	高野 信一
	次長	衛藤 照美
	部長	日田 和成
	課長補佐	吉武 史弥
	主幹（総括）	渡邊 敬介
	主幹	黒岩 聡
日出水利耕地 事務所	所長	吉田 直人
	課長補佐	河野 一憲
	課長補佐	諫元 伸宏
	課長補佐	灘波 悦史
	主幹（総括）	亀井 正彦
	主幹（総括）	甲斐 和広
【中部振興局】		
農林基盤部	局長	森 優子
	次長	前田 憲生
	部長	河野 哲也
	課長補佐	田中 賢治

部署名	職名	氏名
	課長補佐	麻生 春治
	主幹（総括）	濱田 和樹
	主幹（総括）	中野 篤史
	主幹	御領園 進
【南部振興局】		
農林基盤部	局長	渡辺 文雄
	次長	木許 英昭
	部長	今仁 俊行
	課長補佐	小山 長則
	主幹（総括）	工藤 和
【豊肥振興局】		
農林基盤部	局長	加藤 正明
	次長	中津留康夫
	部長	辻野 泰弘
	課長補佐	宮成 俊治
	課長補佐	牧 徹
	課長補佐	工藤 政彦
豊後大野水利 耕地事務所	所長	小深田浩一
	課長補佐	赤嶺 謙二
	課長補佐	菅原 貴美
	主幹（総括）	佐保 貴之
	主幹	小崎 智
	主幹	伊藤 裕司
大野川上流開発 事業事務所	所長	穴見 文六
	課長補佐	田北 茂広
	課長補佐	衛藤 博司
	課長補佐	手嶋 康人
	主幹（総括）	木田 俊吉
	主幹	佐藤 正幸
【西部振興局】		
農林基盤部	局長	河野 圭史
	次長	於久 浩
	部長	小野 辰三
	課長補佐	高倉 義治
	主幹（総括）	工藤 博昭
	主幹（総括）	河野 幸治
	主幹	野上 康則
【北部振興局】		
農林基盤部	局長	田邊 隆司
	次長	平山 邦昭
	部長	野上 輝義
	課長補佐	都留 俊明
	課長補佐	辛島 光彦
	主幹（総括）	後藤 正徳
	主幹（総括）	瀬川 幸弘
	主幹	谷 博文
	主幹	小野 貴史
	主幹	園田 耕司

連合会の職員配置

令和3年5月10日

部署名	職名	氏名	部署名	職名	氏名	部署名	職名	氏名
総務部	参与	伊藤 信二	農村整備係	主任	宇高 亮	調査設計課	課長	麻生 賢正
	総務部長	森下 健二		技師	東野 克実	調査設計係	主幹	安部 俊郎
総務課	総務課長	鶴成 徹		技師補	重藤 樹弥		技師補	秋吉 大輔
	課長補佐	大石慎一郎	災害対策室	室長(兼務)	中城 英利	南部事務所	所長	河野 浩一
総務係	技師補	藤澤 匠真		室長補佐	伊東 哲士		次長	大塚 景介
経理係	主査	首藤 英介	技術支援係	主任	古庄 巧	調査設計課	課長	板井 正信
	主任	吉岡 桂介		技師	幡手 貴一	調査設計係	主幹	麻生 晶広
会員支援課	課長	田部 文敏	換地課	技師	藤原 大輔		主任	赤嶺 孝輔
	課長補佐	工藤 寛嗣	換地係	課長	三代 透		主任	山本 勇樹
会員支援係	副主幹	藤田 義昭		主幹	工藤 大介		技師補	藤縄 愛大
	主任	十塚 弘一		主任	増岡 樹信	西部事務所	所長	清水 寿和
	主任	江田 敏寿		技師	宇都宮弘樹	調査設計課	課長	宮尾 文康
	技術員	柴田 享兵		技師	水澤 陵甫	調査設計係	主幹	梅本 隆男
情報管理課	課長	秋吉 克則	(北部国営対策班)	主幹	佐藤 祐樹		技師	吉田 聖
	課長補佐	佐々木光治	測量課	主任	清家 大志	北部事務所	所長	清末 功一
情報管理係	技師	平野 祐輝		課長	馬場啓四郎		次長	佐藤 公博
水土里情報係	技師	山田 翔太		課長補佐	阿南圭一郎	調査設計課	課長	河野 智弘
	技師補	片山 愛理		主幹	重光 宏昌	調査設計係	主幹	小川 剛
事業部	部長	松木 一宏		技師	福田 良貴		主任	松本 浩一
農村整備計画課	課長	中城 英利		技師補	高山 遼大		主任	塗木 一輝
	課長補佐	阿南 貴章		技術員	甲斐 颯人		技師	東 兵禪
企画調査係	主幹	岡部 真一		技術員	白須 大和		技師	松田 伸也
	主任	西川 真	中部事務所	所長	河野 直樹			

# 水土里ネット大分 各部課所長の紹介



## ● 参与 伊藤 信二

頻発化・激甚化する自然災害や法改正等への対応など、農業農村を下支えする土地改良を進める環境が従来に増して厳しさを増す中、会員の皆さまへの支援強化に向け、一層努力して参る所存ですので引き続きよろしくお願ひ致します。



## ● 総務部 部長 森下 健二

昨年度、総務部長に就任しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で新たな業務形態が求められてきた1年でした。今後も適宜状況に応じて迅速な対策を講じつつ、会運営の健全化に努めて参ります。また、引き続き会員支援課・情報管理課業務の充実化を図るとともに、事業部との連携により会一体となって会員の皆様のご要望に添えるように努力して参ります。



## ● 事業部 部長 松木 一宏

国は、近年の気象災害の激甚化・頻発化に際し、国土強靱化加速化対策を策定し令和3年度から7年度までの5か年間、重点的かつ集中的に対策を講じる方針を示しました。本会においても、令和3年1月、災害対策強化方針を作成し、災害対策室の創設や技術者の確保・育成、新技術の導入による技術力の向上を図っていくことを会員の皆様方に示させていただきました。今年度が初年度となりますが、単年度ごとに結果を残していけるよう頑張っていく所存ですので、引き続きよろしくお願ひ致します。



## ● 総務課 課長 鶴成 徹

総務課では、総務全般の業務に加え、総会や理事会、各種協議会等の会議を行っております。昨年度は、コロナ禍により一部の行事においては、予定通り実施できませんでした。コロナの状況はまだ見通せませんが、引き続き職員7名で会員皆様方の要望に沿えるよう努力して参ります。



## ● 会員支援課 課長 田部 文敏

会員支援課長3年目となります。会員支援課では会員の皆様による各種相談への対応や体制強化事業、多面的機能支払などの各種補助事業に取り組んで参ります。また、法改正に伴う諸問題に迅速な対応を行いながら会員皆様の支援になるよう出先事務所と連携を図りながら努力して参ります。



## ● 情報管理課 課長 秋吉 克則

情報管理課では、情報管理係（積算システム運用管理・工事図書電子化等）及び水土里情報係（研修、保守運用）の業務を行っております。

併せて、「大分県水土里情報センター推進協議会」の事務局も担っており、課員8名で皆様のご要望に沿えるよう一層努力して参ります。



● 農村整備計画課 課長 兼 災害対策室 室長 中城 英利

農村整備計画課では新規事業の啓発、推進、防災重点ため池診断調査、農集排実施設計などの業務を行っています。また、本年度より創設された災害対策室は会災害対策方針に基づき、災害に関する実務に加え、災害技術者の育成、災害業務効率化の新技術導入など様々な対応を行っています。

「魅力ある農業農村」を目指して、職員一丸となって日々努力して参ります。



● 換地課 課長 三代 透

昨年は新型コロナウイルスの流行拡大に伴い、計画していた各種研修ができませんでした。本年度も状況によっては研修会の開催が厳しくなる事が予想されますが情報の提供など遅れないように行いたいと思います。換地業務に於いてもコロナ対策を工夫しながら、県・市町村はもとより、地元関係者の意向確認に応えられるよう、農地の集積・集約化に努力して参ります。



● 測量課 課長 馬場 啓四郎

3年目の測量課長となります。測量課では主に、国営駅館川地区及び県営事業に係る境界測量や確定測量の業務を実施しています。総勢9名、一致団結して、発注者の要望に応えられるよう努力して参ります。



● 中部事務所 所長 河野 直樹

中部事務所長を任され3年目となります。大分市、由布市、臼杵市、津久見市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。本年度は職員数が1名減の4名となりましたが、会員の皆様方のご要望に応えるよう職員一丸となり会員支援並びに事業推進に向け努力して参ります。



● 南部事務所 所長 河野 浩一

このたびの異動により南部事務所長を拝命致しました。

南部事務所では、佐伯市・豊後大野市・竹田市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。本年度は、職員9名体制で前述の業務に加え会員支援並びに事業推進に取り組むとともに、会員の皆様方に満足していただけるよう努力して参ります。今後ともよろしくお願ひ致します。



● 西部事務所 所長 清水 寿和

西部事務所は、日田市、玖珠町、九重町における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。総勢5名と少数ですが、会員支援並びに事業推進を図り、皆様のご要望に沿えますよう努力して参ります。



● 北部事務所 所長 清末 功一

北部事務所は、中津市、宇佐市、豊後高田市、国東市、姫島村、杵築市、日出町、別府市における農業農村整備事業の調査・測量・設計業務を行っています。

職員数は、昨年度より1名増員し、総勢9名となりました。

県・市町村・土地改良区の皆様方のご要望に応えるべく職員一同努力して参ります。

## 令和3年度新規採用職員の紹介



### 北部事務所 調査設計課 調査設計係 松田 伸也

本年度からお世話になります、松田伸也と申します。大学では、土壌物理性に関する研究を行っておりました。これから、土地改良事業の適切かつ効率的な運営について学び、組織の目的である共同の利益を増進させられるように努力していきます。また、弓道を通して得た集中力、粘り強さを活かし与えられた業務を遂行していきます。一日も早く貢献できるように頑張りますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



### 農村整備計画課 農村整備係 束野 克実

この度、新規採用されました束野です。9歳から現在まで野球を続けてきました。

野球を通じ学んできた礼儀などを大切に、先輩方のご指導を受けながら、一日でも早く土地連合会に貢献できるように精進して参ります。宜しくお願い致します。



### 換地課 換地係 水澤 陵甫

この度、新規採用されました水澤陵甫です。

小、中、高、大学と野球を続けてきました。

当たり前のことですが、挨拶、時間、約束を常に心がけ仕事に取り組みます。また、慣れないことも多くあると思いますが一日一日を大切に頑張ります。



### 災害対策室 技術支援係 幡手 貴一

この度新規採用されました幡手貴一です。少しでも早く業務内容を学び、連合会や地域に貢献できますよう精進して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



### 災害対策室 技術支援係 藤原 大輔

この度、新規採用されました藤原大輔です。

私は、小学校から現在に至るまで、野球をしてきました。野球をして学んだ挨拶、礼儀を大事にして一日でも早く水土里ネット大分に貢献できるよう頑張りたいです。宜しくお願い致します。





### 南部事務所 調査設計課 調査設計係 藤縄 愛大

この度、新規採用されました藤縄愛大です。  
学校で5年間学んだことや入社して最初の1ヶ月間の研修期間で学んだことを忘れず、これからやっていく仕事を一日でも早くこなせるように努力して故郷である大分に貢献できるよう頑張りますのでこれから宜しくお願いします。



### 情報管理課 水土里情報係 片山 愛理

この度、新規採用されました片山愛理です。  
大分高専では都市・環境工学科を専攻していました。母校では5年間専門知識の基礎を学んできましたが、まだまだ分からないことばかりなのでご指導・ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。  
また、女子職員ということで他の方の何倍も頑張っていきたいと思っております。  
大分県を農業土木の分野から盛り上げていくべく、精進していきたいです。何卒宜しくお願い致します。

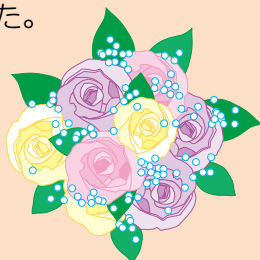


### 測量課 調査測量係 白須 大和

この度、新規採用された白須大和です。  
農業土木は未経験ですが、専門学校で学んだことを生かして先輩方たちから色々な事を学び、更なる資格取得に向けて毎日精進していきます。  
これからは、連合会の一員として頑張っていきます。  
宜しくお願い致します。

## おつかれさまでした

令和3年3月31日付けで、宮本良雄南部事務所長が退職されました。長年にわたり、大分県の農業農村整備事業並びに連合会の発展に対して、ご尽力いただき誠にありがとうございました。今まで大変お疲れ様でした。



左より 石井常務理事、宮本良雄所長（南部事務所）、義経会長

## 「災害対策室」の設置

本会においては、これまでも、災害の発生に際し、最大限の支援を行ってきたが、人材の育成などを含め、様々な問題を抱えている状況である。今回、これらの問題解決に向けて「災害対策強化方針」を取りまとめた。

まず、災害対策を強化するうえでの重点課題として、以下の3点を挙げた。

- 1 点目 大災害時における迅速な災害対応ができる体制整備、専門部署の創設
- 2 点目 災害技術者の育成及び人材確保、会員への災害技術研修会の開催
- 3 点目 災害測量等効率化のための新技術の導入

これら3つの重点課題を強化・克服していくための具体的手法として、

重点課題 1	・災害対策室の創設	全職員の技術力の向上と応援体制の構築を図っていく。
重点課題 2	・各種研修会の実施	基本的には、災害対策室が主となり行う。
	・人材確保	専門分野のみならず、電算関係など、必要に応じ即戦力となる優秀な人材を、中途採用を含め、門戸を広げ確保に努める。
重点課題 3	・ドローンの活用 ・3Dレーザースキャナーの導入	現在、国・県も災害に限らず積極的な導入を推進している。

以上、これらの取り組みに対して、PDCAサイクルの徹底を図り、毎年度検証することにより、より良いものとなるよう、災害対策強化を図っていく所存である。

### ..... 研修生の紹介 .....



#### 国東市研修生 野上 龍太 さん

この度、国東市より派遣研修生として災害対策室に配属されました、野上龍太です。

1年間という短い期間ですが、大分県土地改良事業団体連合会の皆様から農業土木について学び、実際の

災害現場などを経験し、研修期間を終え国東市に帰った際には、こちらで学んだことを国東市の農家の皆様のために活かしていきたいと思っています。

よろしくお願致します。

## 県が「大分県ため池保全サポートセンター」を联合会内に設置

近年の自然災害の激甚化、頻発化等から農業用ため池が決壊等により甚大な被害（平成29年7月九州北部豪雨：福岡県朝倉市や平成30年7月豪雨：西日本一帯など）が全国的に相次いだことから、国は農業用ため池の適正な管理を目的に令和元年「ため池管理保全法」の制定に続き、防災工事等を計画的・効率的に進めることを目的とした議員立法による「防災重点農業用ため池に係る工事等の推進に関する特別措置法（ため池工事特措法）」を令和2年6月に制定し、10月1日（金）から施行された。

この法律において、「都道府県はため池管理者などへ技術的な指導、助言等の援助に努めるものとする」とされていることから、大分県は、

- ・ため池管理者等への相談窓口、技術的な指導、助言その他援助に努める
- ・ため池管理者からの要請や経過観察が必要なため池など、現地点検、指導を行う

などの業務を行う「大分県ため池保全サポートセンター」を大分県土地改良事業団体联合会内に設置した。

本会としては、県の指導の下、ため池の適正な保全管理等に資するよう、支援体制を強化していくこととしている。



看板をかける佐藤農林水産部長と義経会長

### ため池管理者 相談窓口

毎週 月・水 曜日 ※祝日、休日、年末年始  
(12月29日～翌年1月3日) は除く  
9:00～12:00 / 13:00～16:00  
(097) 536-6631

## 土地改良長期計画（令和3～7年度）が閣議決定

令和3年3月23日（火）、新たな土地改良長期計画が閣議決定された。

新たな計画では、計画的かつ効果的に事業を進めていくため、以下の3つの政策課題にそれぞれ政策目標を掲げ、取り組むこととしている。

政策課題1 生産基盤の強化による 農業の成長産業化	政策課題2 多様な人が住み続けられる 農村の振興	政策課題3 農業・農村の強靱化
<p><b>【政策目標1】</b> 担い手への農地の集積・集約化、スマート農業の推進による生産コスト削減を通じた農業競争力の強化</p> <p><b>【政策目標2】</b> 高収益作物への転換、産地形成を通じた産地収益力の強化</p>	<p><b>【政策目標3】</b> 所得と雇用機会の確保、農村に人が住み続けるための条件整備、農村を支える新たな動きや活力の創出</p>	<p><b>【政策目標4】</b> 頻発化・激甚化する災害に対応した排水施設整備・ため池対策や流域治水の取組等による農業・農村の強靱化</p> <p><b>【政策目標5】</b> ICTなどの新技術を活用した農業水利施設の戦略的保全管理と柔軟な水管理の推進</p>

詳細は、農林水産省のホームページをご覧ください。 <https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/keityo/210323.html>

# 南一郎平

**座右の銘**

**一日学**

いちにちがく

今日一日だけはと努力し続けると、一生つづけて学ぶことが出来ること。

**自疆不息**

じきようふそく

休み無く努力し、自己を強化すること。

**日本三大疎水の父**

みなみ いちろべい

南一郎平は、駅館川の水を宇佐市の東側台地に引いて広大な水田地帯を開発するという難事業を成し遂げるなど、人々の生活を豊かにすることに生涯を捧げました。

郷土の偉人「一郎平」が地域、そして住民を思い、地元と一体となって造り上げた広瀬井路をはじめとする全国のかんがい施設（安積・那須・琵琶湖の三大疎水）は、昨今のコロナ禍において、価値観が多様化し、社会経済が混迷する今日、ひとの豊かさとは何かや、国や地域の在り方を原点に戻って考え、地方創生を進めていくうえで、大いに参考にすべき貴重な財産であるといえます。

そこで、関係機関・団体等のご賛同のもと、一郎平の偉業と人となり、そしてふるさと宇佐の文化を全国に発信するプロジェクトを始動します。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

NHK朝ドラ「南一郎平」誘致推進協議会 会長 岡崎憲一郎

## NHK朝ドラ「南一郎平」 誘致推進プロジェクト始動！！

**賛助会員（個人・団体）募集中！**



ichirobei.jp

**NHK朝ドラ「南一郎平」誘致推進協議会**

**構成団体** 宇佐市議会、宇佐市自治会連合会、宇佐商工会議所、宇佐両院商工会、宇佐土地改良区、宇佐市観光協会、大分県建設業協会宇佐支部、宇佐の文化財を守る会、佐田地区まちづくり協議会、両川地区まちづくり協議会、豊の国宇佐市塾、宇佐市、金屋自治区、南一郎平顕彰会

事務局：南一郎平顕彰会 お問い合わせ先：宇佐市総合政策課 ☎0978-27-8109



### 水土里ネット大分 大分県土地改良事業団体連合会

- 事務局 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号  
TEL097-536-6631 FAX097-536-6080
- 中部事務所 〒870-0045 大分市城崎町2丁目2番25号（事務局3F）  
TEL097-536-6631 FAX097-534-4338
- 南部事務所 〒879-7125 豊後大野市三重町内田742-3  
TEL0974-22-1744 FAX0974-22-1798
- 西部事務所 〒879-4413 玖珠郡玖珠町大字塚脇472-2  
TEL0973-72-1952 FAX0973-72-3419
- 北部事務所 〒879-0453 宇佐市大字上田1301-2  
TEL0978-32-1740 FAX0978-33-3186

